

科目	哲学	担当	岸 貴介	履修学年	2年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	選択	単位数	2単位

【授業目標・到達目標】

講義では、哲学の様々な知識を伝えることよりも、哲学の作業を提示することに努める。より具体的には、哲学に関わる問いについて、具体的な仕方でも問い・考え・掘り下げるといった作業を実際に行っていく。

きちんと受講することで期待される到達目標としては、次のものが挙げられる。すなわち、講義も参考にしつつ、講義で扱われる問題や、他の様々な問題について、まずは、自ら関心を持つようになること。次に、自ら問い直すことができるようになること。更に、自ら掘り下げて考える努力ができるようになること。

【履修注意】

毎回多くの文章を読み、考える。また、1回完結型の講義ではなく、複数回にわたり議論を積み重ねていく。更に、毎回小テストを行う予定である。従って、相当の日本語読解力に加えて、思考力・集中力・忍耐も要求される。これらの点を承知した上で履修すること(2年生以上も履修可)。

なお、毎回出欠確認を兼ねてコメントを書いてもらうことも考えている。また、毎回とは限らないが、内容に関連したワークシートを利用することも考えている。

【評価方法】

平常点10割で判断する。内訳は小テストが約6割、コメント・受講態度が約4割。出席点の設定は無いので注意。

【試験について】

実施しない。

【予習・復習】

文部科学省の指針に従えば、2単位科目は90分の講義に対して90分の自宅学習(予習、復習)が必要。

【教科書】

購入教科書なし(こちらで講義資料を用意する)。

【参考書】

なし。

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	イントロダクション	何をやるのか、いかにやるのか、受講者アンケート
2	哲学について①	「哲学」とは何でないか
3	哲学について②	「哲学」とは何であるか
4	哲学について③	なぜ「哲学」への誤解が生まれるのか
5	自分について①	「自分であること」と「自分らしくあること」
6	自分について②	「自分らしさ」の特徴は何か、その検討
7	自分について③	「自分らしさ」の位置づけ
8	自分について④	他人を理解すること、自分を理解すること、更なる検討
9	自分について⑤	「本当の自分」の位置づけ
10	思考について①	「考える」とはどういうことか、その分類と整理
11	思考について②	どうしたら「考えること」ができるのか
12	思考について③	どうしたら「正しく考えること」ができるのか(その1)
13	思考について④	どうしたら「正しく考えること」ができるのか(その2)
14	思考について⑤	日常的にありがちな「考え間違い」
15	まとめ	まとめ、講義内容補足
16	おわりに	15コマの復習・確認・総まとめ